

学 校 教 育 目 標

「人 を 大 切 に す る」

1. 互いに支え合い、励まし合って自己および集団の願いを積極的に実現していく **生徒**
2. 一人ひとりにとって居場所のある学校をめざし、生徒や同僚と学びあう姿勢を持つ **教師**
3. 地域に開かれ、地域に根ざし、地域から信頼される **学校**

一人ひとりの子どもの

自己実現

差別の現実から深く学ぶ

人権学習の充実

- ・三滝プランの再構築と実践
- ・出会い学習や体験学習，聞き取り学習の場を通じ，実践的な人権学習を創造する
- ・福祉・環境教育の推進

なかまづくり
差別を許さない

授業改善と小中連携の推進

- ・わかる授業の創造
一人ひとりが輝き、互いに響き合う集団の育成
- ＜^{あい}支え愛・^{あい}認め愛・^{あい}高め愛＞
- ・学びの一体化の推進
「豊かな心」「すこやかな成長」
「確かな学力」

出会い、語り合い、つながる

なかまづくり

・自尊感情の向上 ・ゆるぎない信頼関係

子どもの姿 家庭・学校・地域
見えてくる課題の原因・背景をつかむ

- ・人権・同和教育推進に関わる学習活動
- ・生徒指導・安全指導の充実
- ・学校評価および学校教育活動内容についての情報発信
- ・授業改善と学びの一体化の推進
- ・福祉・環境教育の推進

三滝中学校づくりビジョン推進のための具体的方策

平成26年度

① 差別の現実から深く学ぶ人権学習の充実

～差別を許さないなかまづくり～ 豊かな感性と確かな人権感覚を育成する。

※自分の周りに、自分を支えている仲間・集団の存在があることを実感させていく。

※なかまの素晴らしさを実感した生徒が高まりあう中で集団の大切さを認識し、人と人とながっていくことが素敵な営みであると感じ取らせる。

- 核に据える子どもを通して差別を許さない集団づくりを進めるためには、自らを解放し、なかまとのゆるぎない信頼関係を築くことが必要である。子どもたち一人ひとりの姿の変容をめざした、より効果的な学習プログラムづくりを行う。
- 教職員と子どもが共に差別を許さない思いを強く持てるような出会い学習や体験学習、聞き取り学習の場を通じ、子どもたちが正義を貫き、前向きな生き方ができる実践的な人権学習を創造する。

～福祉・環境教育の推進～

- 地域社会福祉協議会や校区の小学校と連携し、地域の中へと浸透してきた本校の社会福祉活動を、全校あげての、より意識の高い活動となるように取組を進める。
- 親子除草作業、緑化委員会の活動など、人と人、人と自然とのふれあいを通し、生活環境、自然環境を改善する取組を学校全体が意識を持った活動へと発展できるように改善を図る。



② 授業改善と小中連携（学びの一体化）の推進

※「一人ひとりを大切に」授業を構築し、学力・進路保障につなげていくため、基礎基本が身につく授業、わかる喜びの得られる授業、学びあい深めあうことのできる授業をめざす。

※校区内の小学校および保育園・幼稚園と連携し、今まで以上に児童生徒の「豊かな心」、「すこやかな成長」と「確かな学力」をつけられるように、計画的・継続的に指導方法や内容を改善し、学校の教育機能を高める。

- 学力向上のために、全国学力・学習状況調査や到達度検査（CRT）の結果分析をふまえた授業改善を行う。また、基礎学習タイム（放課後10分間）や夏季休業中の補充学習においてもその結果分析をいかした取組を進める。
- 中学校区の小学校と連携しながら出前講座や入門講座、補充学習、授業公開を実施する中で、小集団学習の効果的な活用や家庭学習の与え方、子どもの見方・捉え方などを共有し、小中学校双方の教育活動に役立てる。

③ 生徒指導・安全指導の充実

※なかまに対する思いやりの心と自己指導能力を育てる。

自己指導能力：その時その場でどのような行動が適切か自分で考え、決めて実行する能力

- 道徳の時間や総合的な学習の時間を活用し、地域や関係機関の人の協力を得ながら、子どもたちに自分を見つめる時間を設定し、基本的な生活習慣、安全意識の徹底を図る。
- 教育相談・家庭訪問を積み重ね、子どもたち一人ひとりの生活実態をしっかりとつかみ、教員、保護者、生徒、三者が信頼関係を構築する中でいじめや差別を許さない態度を育成する。

- 子どもたちが主体となって日常生活の見直しを行い、自らの改善活動を通して学校生活をよりよくしていこうとする意識を高める。地域に住む社会構成員の一人としての自覚を促す。

④ 学校評価および学校教育活動内容についての情報発信の推進

※「学校づくり協力者会議」とともに、ビジョンの浸透、実施計画と組織の見直し、人材育成と組織能力の向上をめざし、学校経営品質をより高める。また、学習者や保護者、地域住民に対し、日々の教育活動や学校自己評価についてできる限り情報発信をし、より開かれた学校づくりをすすめる。

- 学校HP，学校だより，学年通信を軸にして積極的に情報発信を行う。学校自己評価アンケートや授業参観の感想などを通し、子ども、保護者、地域の声を聞き、評価の低かった事柄については、教育活動を見直し、生徒や保護者に信頼の得られるものへと改善をしていく。